『フレンズ』
ファンページ

Dear my Friends

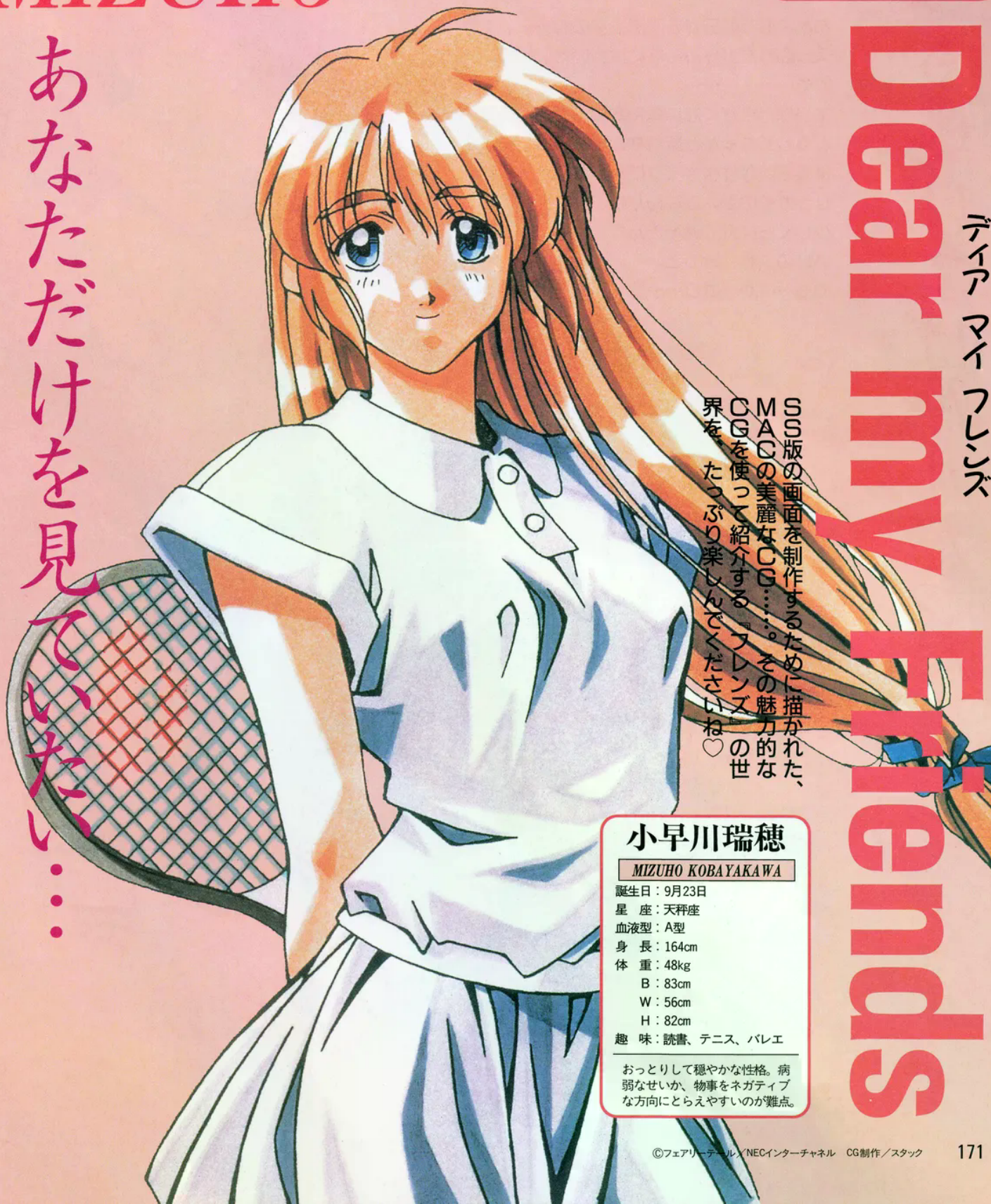
ディア マイ フレンズ

SS版の画面を制作するために描かれた、MACの美麗なCG……。その魅力的なCGを使って紹介する『フレンズ』の世界を、たっぷり楽しんでくださいね♡

Vol.5

MIZUHO

あなただけを見ていたい…



小早川瑞穂

MIZUHO KOBAYAKAWA

誕生日：9月23日
星　座：天秤座
血液型：A型
身　長：164cm
体　重：48kg
B：83cm
W：56cm
H：82cm
趣　味：読書、テニス、バレエ

おっとりして穏やかな性格。病弱なせいか、物事をネガティブな方向にとらえやすいのが難点。

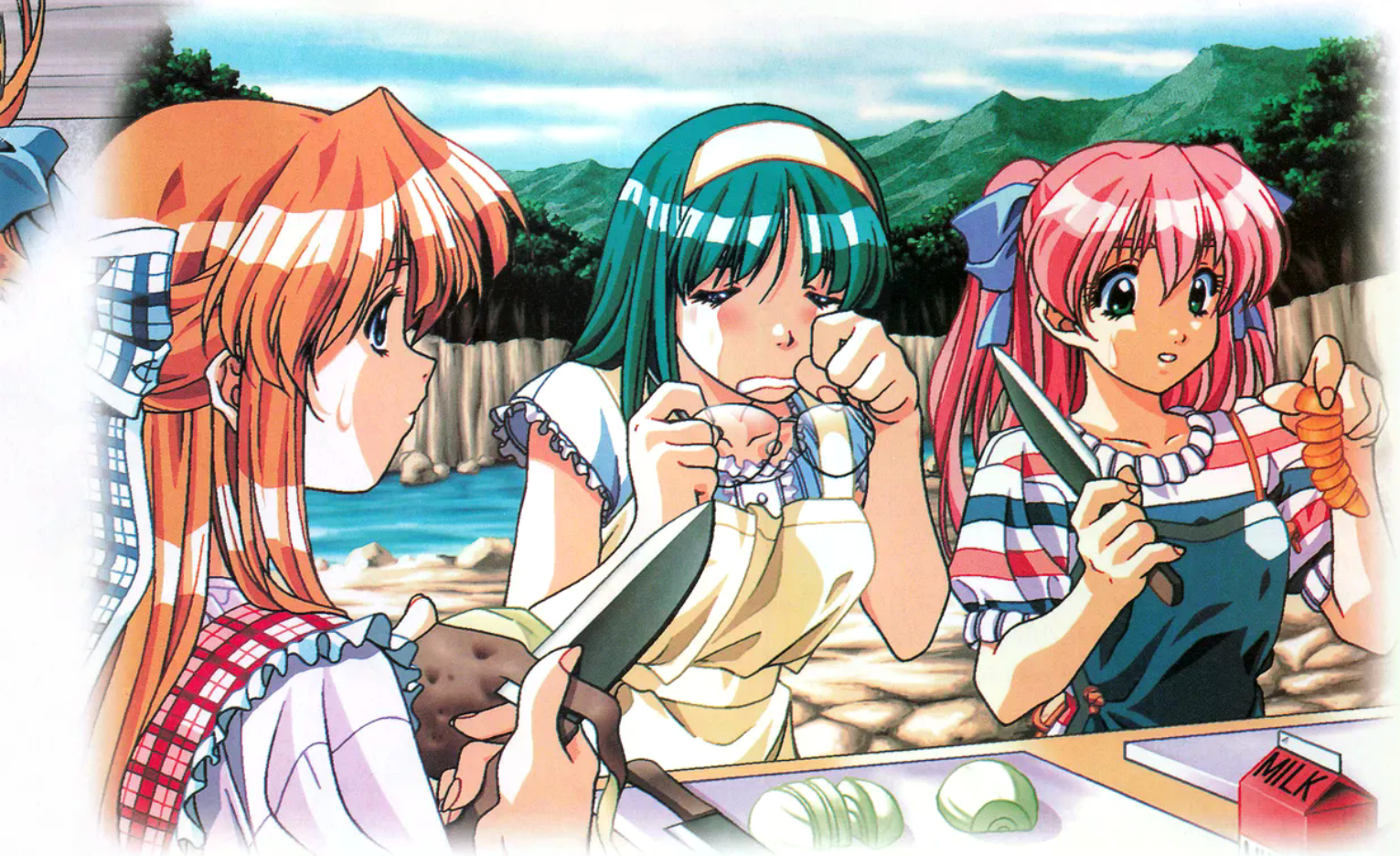
©フェアリーテール／NECインターチャネル　CG制作／スタック

いつも逃げてばかりだった…

あぁ、もう明日から同窓会なのね……。
久しぶりだからみんなには会いたいけど、
でも……。
本当は行きたくない気持ちの方が強いのに……。
どうしてちゃんと断れなかったのかしら。
優柔不断な性格がイヤになっちゃう……。
せっかくの夏休みなんだし、
少しくらい外で遊んだ方が
いいのよね、きっと。
でも……やっぱり……。

まだ心の中で葛藤してるの……。
なんで私、こんなところにいるんだろう？
どうしてこんなところに来ちゃったんだろう？
ああすればよかった、こうしたかった……って、
いつもこんなことばっかり……。
後悔ばかりしてるわね、私って……。
今回の旅行もそう……。
でも、楽しそうにしてるみんなを見てると、
何も言い出せなくて……。
……なんだか……せつない……。

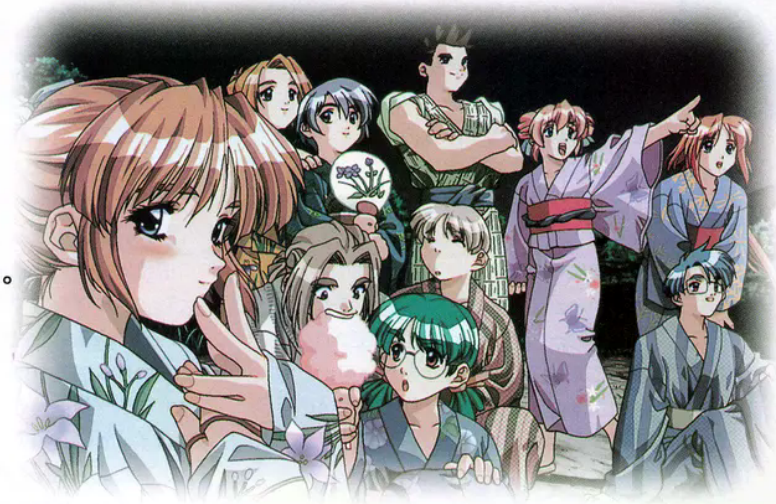
友情が重たい時ってあるよね…



不安な気持ちを隠していたの…

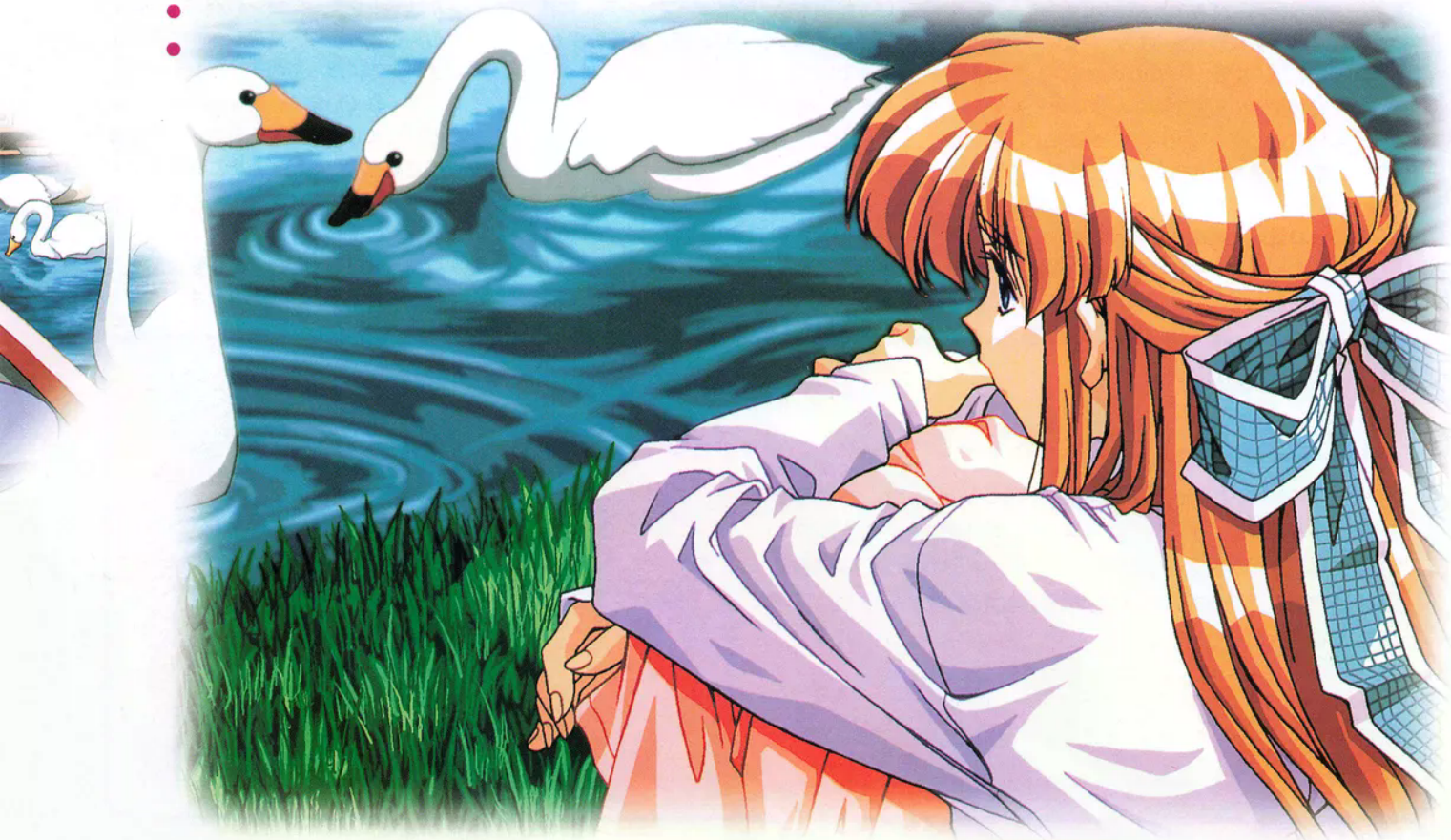
いつも私の耳に聞こえてくる言葉は、
「大丈夫？」
「日陰で休んでれば？」
そんな言葉ばっかりだったわ……。
私の体が弱いからって、顔色が悪いからって、
まわりのみんなをいたずらに心配させるだけで、
いつも何もできないでいた……弱虫の私。
そんな時……あなただけが、
こう言ってくれたのよ。
「がんばれ」って……。
少しだけ……強くなれる気がした……。

友情が愛情に変わる瞬間がある…



同窓会に来てよかった。
そう思えるのは、
あなたがいるからね……。
どんなことでも、
少しだけ……
いつもより楽しく
見えてくるみたい……。
そうね、人生って……
思っているよりずっと、
楽しいものなのかもしれないわね……。
昔と変わらない優しさを、あなたがくれるなら……。
いつまでも……。

dream comes true……



『フレンズ』制作日記

千代田区神田神保町・青春よ輝け！

文●多部田俊雄／NECインターチャネル

毎度毎度締め切りギリギリの原稿入れになり、北山女史に死ぬような思いをさせているこのコーナー。しかもその内容ときたらほとんどが内輪のネタで、私がいかに周囲に迷惑をかけているか以外の情報はほぼ皆無。なのに何故か打ち切りにもならず、今回で無事（？）半年を迎える事になりました。北山女史の心が余程広いのか、それともすっかり諦められているのか、はたまたその両方なのか、怖くてちょっと聞けませんが、何はともあれ第５回。いよいよヒロイン（？）小早川瑞穂の出番です。

ヒロイン像を大きく逸脱

小早川瑞穂は一応この作品のヒロインなのですが、実は従来のゲームのヒロイン像とは大きくかけ離れたキャラクターになっています。これは原作『同窓会』でもそうだったのですが、私が加筆をするにつれ、その傾向が一層増長される事になりました。結果として、一体どういうキャラクターになったのかというと…、あんまりストレートに書くとゲームのネタバレになってしまうので、以下の事柄から推測してみてください。

・どうも失恋直後らしい

普通、恋愛ゲームのヒロインと言えば純粋培養の無菌室育ちが多いのですが、同窓会に来た瑞穂はどことなく上の空で、失恋直後なのではないかというウワサが同窓会参加者の間で飛び交います。

・ロ数が異様に少ない

おしゃべりなヒロインというのもあまり一般的ではありませんが、瑞穂の口数の少なさは尋常ではなく、たまに口を開いても「うん…」と「ううん…」がほとんど。音声の収録時、他のキャラクターと同程度のページ数の台本を用意しておいても、収録時間は半分で済んでしまうという凄まじいキャラクターなのです。

・主人公の事を思っていないらしい

瑞穂は完全に「意中の人以外はその他大勢」タイプらしく、かつ、主人公が意中の人である可能性は極めて薄いため、彼女からしてみれば、主人公さえもその他大勢の一員に過ぎないようです。普通、ヒロインとの物語では「実は昔からあなたの事が好きだったの」的な展開があるものですが、瑞穂との物語ではそういった萌え萌えの展開は全く期待できないでしょう。

…他にも従来のヒロインと違う所はゴマンとあるのですが、あんまり書くと瑞穂との物語を楽しもうとするプレイヤーがいなくなってしまうのでこれ位にしておきましょう。とにかく言えるのは「並みのヒロインだと思って近寄ると、従来の恋愛ゲームのファンにとって、とても痛い展開が待っている」という事。そういった意味で、瑞穂は『フレンズ～青春の輝き～』のテーマである「恋愛の痛み」を地でいくキャラクター、つまりは「ヒロイン」に他ならないのですが……。

近況のご報告

さて、ゲームの制作進行状況ですが、各パートの進行状況は以下のとおりです。

・脚本

遅れに遅れていた脚本も先月以上に遅れる事なく、現在ほぼ８割が完成。とは言うもの……青木桃子、村田深雪、鞍掛不二男など書き上がったキャラクターがいる一方で、若林鮎などはまだ全体の３割程度（最も、鮎は他のキャラクターの２倍以上のシナリオ量なのですが……）。現在も苦闘の日々は続いています。

・グラフィック

『同窓会』からのグラフィックやフルスペックモーションは全て完成。現在アニメーションの微調整を行いつつ、水谷とおるさんから上がって来る、描き下ろし原画のグラフィック化の真っ最中。

・音楽

例によって例のごとくティーズミュージックが担当。いつもの様に素晴らしい出来ばえ…と言いたいところですが、今回はいつも以上、過去最高の出来で、恐らくセガサターン内蔵音源の最高峰と言っても過言ではないでしょう。

・システム

自他共に凝り性を認める私が「そこまで凝らなくても…」と思うほど凝り性なスタックは、脚本の出来上がりを待つ間に、ゲームシステムそのものの練り込み、フルスペックモーションの制作、ＣＤからの高速読み込み、音声レベルの均一化など、細部に渡ってのチューンナップを行ってくれています。特にゲームテンポを左右してしまう読み込みスピードは驚くほど高速で、現状でも十二分なのですが、さらに良いアイディアがあるとの事で……。

以上、お待たせしている甲斐のある良い作品に仕上がりつつあります。

もし、次回があれば……

佐伯夏奈子ちゃん

……のお話を少々。夏奈子は原作からして相当に元気なキャラクターでしたが、『フレンズ』では声優の豊嶋真千子さんの演技も加わり、より一層パワーアップ。『マラソンする炉心』と呼ばれる白石竜助をも凌駕する超音速体育会系娘として登場します！

to be continued……